

## 令和6年1月定例記者会見要旨

開催日時 令和6年1月25日(木) 午前10時30分 302会議室

(総務部長) 皆さんこんにちは。常日頃より大変ありがとうございます。ただいまより1月の市長定例記者会見を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

(市長) おはようございます。いつもお世話になりありがとうございます。新年になってから早くも25日が経過いたしました。思いがけない大震災というスタートになりました。厳しい状況の渦中にある被災地の皆さんのことを思いながら、我々もできる応援をやりながらの新年スタートとなっております。後程また詳細について報告がありますが、新しい年度に向けてやるべきことを順次進めている段階です。それでは、2月の行事予定に沿って主な項目をお伝えしてまいりたいと思います。

2月13日に今秋から積み上げてまいりました令和6年度当初予算案の記者発表と定例記者会見を行う予定です。現在概ね歳出の額が見えてまいりまして、歳入の情報を取得して、月末くらいにまとめて大方の様子が見えてくる状況となっております。翌日2月14日に諏訪市区長会議を開催いたします。コロナ禍であったため、密集を避けるべく89区92名の区長を対象に2日に分けて開催してまいりましたが、今年からはコロナ禍前に戻して1日開催になります。日程は1日になりますが、従前と少し内容が変わります。市政の連絡事項をコンパクトに凝縮し、後半に区長さん同士の意見交換会を設けることにいたしました。諏訪市は89区ありますが、数軒で一つの区を構成しているところから、1,000軒近くある区まであります。区長として持っている課題等は様々ですが、情報共有したり目線を広げること、あるいは近隣の皆さんと協力することによって、今ある課題について次なる見通しが出てくることを期待しています。

(2月の日程説明等)

○アイスクャンドル点灯式

2月 3日(土) 午後 5時00分 アーク諏訪前

○夜歩く魅力の諏訪ライトアップ「諏訪市文化センターライトアップ」

2月 3日(土) 午後 5時30分 文化センター

○ゆかり市長の出張トーク

2月 7日(水) 午前11時00分 市内

○諏訪市議会 本会議【招集日】

2月20日(火) 午前10時00分 議場

○教育委員会関係2月行事予定

能登半島地震の諏訪市対応について現状までのところをまとめました。1月1日の16時10分頃、諏訪市でも震度4の地震発生によって即刻職員二次配備体制を整え、概況を調査いたしました。大きな被害状況がないことを確認して当日は解散いたしました。翌日には市民に対する状況報告や義援金の受付準備等、その後の対応や物資の確認等をしております。3日には中部圏知事会から長野県に要請があった物資とともに、諏訪市からアルファ米他物資を発送しました。4日以降に義援金の窓口受付を開始いたしました。即日からは連日約10万円の募金が集まっている状況で、1月20日現在250万円の実績でございます。また、昨日は市内

の企業さんからのご寄附があり、小学校の子供たちもたくさんのお金を集めて届けてくださったり、市民の意識も高くある現状をありがたく思っているところです。

職員派遣につきましては、1月6日に水道局から応急給水の応援を出して以来、間断なくいろいろな要請に応じて交代でチームを派遣しております。給水車の報告に続いて、一昨日には廃棄物処理の帰庁職員の報告がありました。また、諏訪広域消防本部からも職員が珠洲市へ派遣され、約60名が22日に一旦帰還しました。災害ボランティアセンターにつきましては今のところ募集を行っておりませんが、先日防災士の要請によって当市の防災ネットワークの会長も現地入りしてまいりましたが、近々現地からもボランティアの要請がスタートするのではないかとの情報も来ておりますので、状況に合わせて対応していくものと承知しております。ボランティア関係につきましては、社会福祉協議会を中心に采配があると思っております。

#### 記者との質疑応答

##### ○諏訪市の防災体制について

(記者) 能登半島地震の被害状況を見てどう受け止めたか。防災対策にどう取り組むか。

(市長) 当市の南海トラフ地震の想定が出ておりますが、向こう30年の間に震度6弱の地震発生確率が70～80%です。いつ大きな地震が起こってもおかしくないという心持ちで準備を進めているところです。毎年1回地震想定での防災訓練等において、関係の皆さんや防災協定を結んでいる皆さんとも確認をしているところです。今回廃棄物処理班からの報告では、阪神淡路大震災や東日本大震災の後に山のように積み上がった混在した廃棄物の処理が大変厳しかったことを反省し、市民に対して分別して持ってくることを呼びかけ、廃棄物処理の受付エリアにおいて、コンクリートブロック、家電、あるいは燃えるもの等を分けて捨てる、また、奇数日と偶数日で持ち込める地区を分けるといった情報が発信され、市民も規律を守りながら持ってくることによって、廃棄物処理が効率的にできている現場を見せていただいたと報告を受けました。これについて我々も学ぶべきところがあり、そして支援の仕組みについては、支援する皆さんが物資を持ってきてくださり、全国各地の自治体窓口で山積みになった物資を無差別に送ることによって現地が渋滞するといったことなど、いろいろな反省を経験してきました。そうした中で我々もチームを組んで、現地において必要なところに必要なものを、必要なタイミングで届けることが非常に大事だと学びました。チームながのとして、あるいは要請の手順が学習され、現在は一般のボランティアはまだ現地入りできない状態です。現地では被災者の方の捜索が一旦終わり、廃棄物処理をスタートする状況になって受援する体制が整ってきたので、いよいよそうしたボランティアを受け付けできそうな段階に来ています。このタイミングで我々も今度はこちらから行ってくれるボランティア募集を始めたり、被災地を応援する側もそうした学習をする中で、混乱をできるだけ避けて効率のよい支援をする体制が整っていると実感しております。我々が被災地になった場合に応援してくださる方々を受け入れる受援計画を作っておりますが、これを日々見直しながらよりよいものにしていくことが大切であると考えております。

(記者) 耐震化への取り組みは。

(市長) 耐震化の補助メニューは継続して持っています。耐震判定0.7が一つの区切りで、耐震基準が改定されて以降の住宅については基本的に守られていると思いますが、それ以前に建てられた住宅に対して耐震化に対する補助メニューを用意してございます。少しでも倒壊による被災がないように我々も応援してまいりたいと思っております。まずは自分自身の命を守る、そして地震が来たとき、例えば家の中ではどの場所が一番安全なのか、会社ではどこなのか把握しておくことは大事だと思います。そうした意識啓発をしていくために、我々としても

しっかりと広報していきたいと思います。

○文化センターのライトアップについて

（記者）初めてのイベントになるか。

（市長）アイスクャンドルイベントはここで30周年を迎えます。アイスクャンドルイベントに合わせて高島公園や柳並公園などいろいろなところでライトアップがされますが、文化センターを焦点にしたのは初めてです。

（記者）市民に関心を高めてほしいねらいがあるか。

（市長）諏訪市も共催しておりますが、主体となっているのは実行委員会で、私もイベントの報告を受けたのは1週間くらい前になります。文化センターでライトアップすることは、当市からお願いしたというよりは、諏訪湖イルミネーション委員会の構成団体である諏訪観光協会や諏訪商工会議所、諏訪湖温泉旅館協同組合の皆様が主体的に決定してくださいました。

○映画「怪物」について

（記者）日本アカデミー賞の優秀作品賞に発表されたことへの受け止めは。

（市長）大変嬉しいニュースだと思います。諏訪圏フィルムコミッションが諏訪地方観光連盟の中にあるので、諏訪圏域全体を対象として映画の撮影誘致に取り組んできましたが、是枝監督のような世界的に有名な監督がこの地域を選んできたことは本当に地域住民として嬉しいことです。先日も、是枝監督が城南小学校で映画に興味のある子供たちのアドバイザーとして取り組んでくれた事例もありました。監督たちは、子供たちを含めた市民の歓迎感、地域の皆さんが温かく迎えてくれるのが嬉しいと言ってくれています。そうしたことも、いろいろな気持ちの相乗効果の中で得られてきている結果だと思いますので、さらに伸ばしていきたいと思っています。

（総務部長）どうもありがとうございました。以上をもちまして1月の定例記者会見を終了します。ありがとうございました。